

# 未来につなげたい、大切な記憶

UNFORGETTABLE MEMORIES LEADING US FORWARD

## 令和3年度通常社員総会

- 2022（令和4）年3月13日（日） 於ゆめトピア長船（岡山県瀬戸内市） -

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、令和2年度に引き続き本年度も感染拡大対策を講じた上で正会員の皆さまのみにご参集いただき、開催しました。

正会員総数98者中、53者の方にご出席いただき総会が成立している旨の報告がされた後、議長に原憲一理事長が選出されました。審議事項はありませんでした。その後、本年度その策定を委託した株式会社デザイン・フォー・ヘリテージ 代表取締役 西村祐人様による国立療養所長島愛生園「収容棧橋」「監房跡」調査及び基本設計が報告され、報道各社との質疑応答が行われました。長島愛生園入所者自治会 会長 中尾伸治様からは「どちらの遺構も、人権学習の場にふさわしい形で保存活用されることを希望する」との発言がありました。本号では2ページ・5ページにて当日報告された「監房跡」配水処置・内部構造調査の結果の一部をご紹介します。約半世紀にわたり人の目に触れることなく土中に埋まる独房内部の写真です。療養所内でかつて運用されていた懲罰施設の現状をご覧ください。

本年度も委任状をご提出いただき、総会の成立にご協力くださいました正会員37者の皆さまには誌面を借りてお礼申し上げます。



当日配布した資料は、ホームページでご覧いただけます。

<https://www.hansen-wh.jp/news/507/>



# 歴史的建造物等の基礎的調査（2年目中間報告）

## -保存修復案・整備活用に向けた基本設計作成を目指して-

前回の会報誌第6号では、長島愛生園「監房跡」「収容棧橋」それぞれの保存活用に向けた整備案をお示しました。今回は、昨年11月から12月にかけて実施した「監房跡」配水処置・内部構造調査の結果写真（速報）をご紹介します。詳細は本年6月発行の2021年度年次報告書にて取りまとめ予定です。

<長島愛生園「監房跡」（1930年築）> 土中の独房は「監禁室」5室、「謹慎室」3室の合計8室の構成と想定。

### ①調査場所

- ・最も海側（西側）の「監禁室」（Br1：11月実施）
- ・道路上の（東側）の奥から3つ目の「謹慎室」（Br2：12月実施）

### ②調査方法

- ・天井の一部を抜き取り、内部をカメラで観察・撮影（Br1）
- ・ボーリングにより穴を開け、内部をカメラで観察・撮影（Br2）
- ・水位計及び気圧計を設置し、データを回収・分析（Br1・Br2共通）



### 「監禁室」（Br1）内部の様子



雨水の流入と滞留が確認できるが、土砂の流入は確認できない。かつて存在した間仕切りの痕跡が確認できる。



西面（海側）の漆喰を削り、刻まれた文字（落書きの痕か）

（5頁に続く）

# 岡山県瀬戸内市ふるさと納税型クラウド・ファンディング 「後世に伝えたい ハンセン病の歴史」事業 経過

ご寄附いただいた皆様には、改めて厚くお礼申し上げます。



**2019.11**  
「十坪住宅ペーパークラフト」作成  
親子向けを想定した仕様  
長島愛生園内 喫茶さざなみハウスに常設

**クラウド・ファンディング終了**  
目標額達成（寄附総額3,365,338円、寄附者合計107名  
「十坪住宅貯金箱」リバイバル版11個送付）  
（写真）大晦日に長島愛生園納骨堂北側にかかった虹



**2021.6**  
（光明園）  
ネイティブ翻訳家へ英語翻訳を依頼



**2021.9**  
（愛生園）  
専門業者工場へ処理対象史資料251点を配送

**2022.1**  
（愛生園）  
専門業者から処理済史資料251点を受領

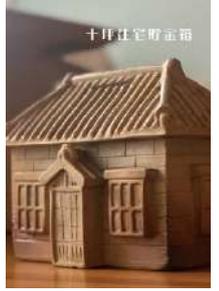
**2022.2**  
（愛生園）  
脱酸性化処理等の確認及び撮影  
歴史館学芸員による処理済史資料の整理・保管



**2022.3**  
**事業完了**  
NPO事務局にて事業報告書を作成  
瀬戸内市から寄附者の皆様へ郵送

**2019.5.9**

**クラウド・ファンディング開始**  
ユネスコ「世界の記憶」登録を目指した事業  
を実施する目的で開始。目標額300万円。  
10万円以上の寄附への返礼品として企画した  
長島愛生園 陶製「十坪住宅貯金箱」  
リバイバル版と併せて報道発表。



**2019.12.10**

ハンセン病の史料保存へ、ふるさと納税活用も苦戦  
（朝日新聞岡山地方版）  
寄附額が185万円にとどまり、残り半月での目標達成に向けた  
苦境が報道される

**2021.1**

**事業計画策定**  
長島愛生園、邑久光明園それぞれの入所者自治会及び学芸員  
との打ち合わせ

**2021.5**

（光明園）  
NPO事務局にて入所者証言映像24本（合計約1時間18分）に  
挿入されている日本語字幕（約2万字）をテキスト化。英語  
翻訳用に校正。



**2021.7**

（愛生園）  
専門業者による処理予定史資料の現状調査

**2021.10**

（光明園）  
ネイティブ翻訳家による英語翻訳データ完成

**2022.1**

（光明園）  
英語字幕データ完成

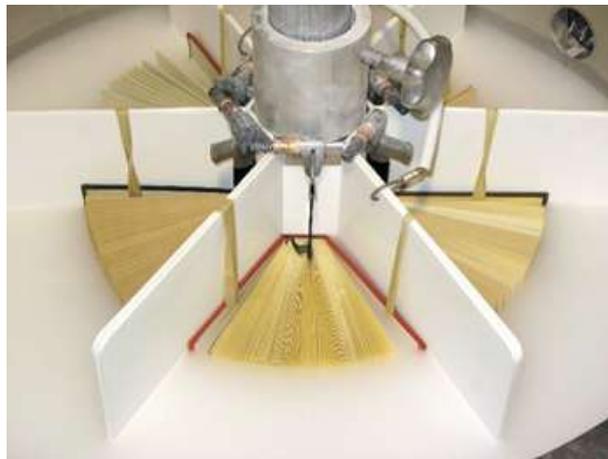
**2022.3**

（光明園）  
英語字幕データを社会交流会館のモニターに実装

## 脱酸性化処理(写真撮影：キハラ株式会社)

日本国内では明治20年代から酸性紙（木材パルプ）の生産が活発化しました。酸性紙は内在する酸により徐々に劣化し、場合によっては紙が粉碎するまで脆弱化します。酸性紙に代わる中性紙が広く普及したのは1980年代からといわれます。今回、酸性紙で構成される長島愛生園所蔵史資料に対して酸化マグネシウムの微粒子をしみ込ませ、時間とともに空気中の水分と反応して水酸化マグネシウムへと変化し、紙の中の酸をゆっくりと中和させることで紙の寿命を何も処理しない場合と比べて3倍～5倍に延長させる効果が確認されている脱酸性化処理を実施しました。

※脱酸性化処理は紙の今後の劣化を低減させる予防的措置です。一度失われた紙の性能を回復させるものではありません。



脱酸性化処理の様子

## 簡易補修(写真撮影：キハラ株式会社)

今回は脱酸性化処理を行う前に、安全に処理ができる程度までに紙資料の状態を回復させ、同時に処理後の利用の際にリスクとなるような比較的大きな損傷部分を補強することを内容とした必要最小限の簡易補修を実施しました。具体的な簡易補修の内容の一部は、以下のとおりです。



腐食したホチキスを除去し、麻糸で綴じ直し



折れをフラットニングし、破れと欠損部分を和紙と正麩糊で繕い



雨水と土砂の流入・滞留が確認できる。南面の木製格子が壊れ、土砂とともに内部に流入している。



便所と押し入れ跡。かつて存在した間仕切りの痕跡が確認できる。

謹慎室南面に存在した木製格子写真 (歴史館蔵)



天井。壁面から天井にかけてクラック (白囲み内) が走る。上部の土砂の荷重の影響と考えられる。



20211122 23 監房跡ホーリング・水抜き調査及び内部構造調査 (第一行程)



20211201 15 監房跡ホーリング・水抜き調査及び内部構造調査 (第二行程)

調査の様子をまとめた動画を以下で公開しています。ぜひご覧ください。

(NPO公式YouTubeチャンネル)  
<https://www.youtube.com/channel/UCHeBTc4Vx5lxc2BoUpk9Fig>



## 長島ストーリープロジェクト

長島愛生園内の喫茶さざなみハウスは、療養所入所者の皆さんと長島に関わる人々の今を映像と文章（テキスト）で記録するプロジェクトを各分野のプロの方々と開始し、2021年度の取り組みをインターネットで公開しました。見ごたえ、読みごたえ十分な内容となっています。ぜひご覧ください。

映像 (YouTube) <https://www.youtube.com/channel/UCqER1By-MdMBijAOcEWkxaw>  
 文章 (テキスト) <https://sazanami-house.info/>



### オンライン交流会

1月8日（土）午後、日本と時差が1時間ある台湾と長島愛生園入所者自治会事務所、NPO事務所をZOOMでつなぎ、長島愛生園歴史館木下学芸員の技術支援を得ながらオンライン交流会を開催しました。当日は台湾在住の正会員さんのお声掛けにより現地とオンラインで約30名の皆さまにお集まりいただきました。ご要望がありましたらお気軽にNPO事務局までお問い合わせください。



### ご寄付いただいた皆様 (R3.11.14～R4.3.15)

岡山県曹洞宗青年会	片岡宗玄 様	62,809円
	釜井大資 様	91,000円
	合計2件	153,809円

### 瀬戸内市への企業版ふるさと納税でご支援 いただいた法人各位 (令和3年度中 敬称略)

医療法人社団 純心会 (普通寺市)	300万円
株式会社 両備システムズ (岡山市)	200万円
RSK山陽放送 株式会社 (岡山市)	30万円
合計3件	530万円

### 編集後記

- 史跡に向けた調査として長島愛生園内の植物調査に着手...とはいえ情報が少なく門外漢でもあり、ここでも「愛生」誌をたよります。「表紙に寄せて」のコーナーでは昭和47年から平成17年まで、愛生園内の建物や碑に加えて園内の樹木や植物画が掲載されています。
- 例えば新良田地区にある梅檀（センダン）。梅雨前には紫色の花が咲き秋から冬にかけて丸く黄色い実をつけます。愛生園の草創期から園内各地に植えられ、その理由は「虫下しの用をする」とのこと。人肥を使っていた頃には皮を削って煎じて飲んだ、との証言が添えられています。
- 建物以上に愛生園の変化を見つめてきた植物の声を集めに「愛生」誌の写しと植物図鑑を携え、四季を感じながら園内調査を進めます。

### 編集・発行

特定非営利活動(NPO)法人  
 ハンセン病療養所世界遺産登録推進協議会事務局  
 〒701-4501 岡山県瀬戸内市邑久町虫明6253番地  
 (国立療養所邑久光明園旧入所者自治会館内)  
 TEL: 0869-24-8872 FAX: 0869-24-8873  
 email: hansen-wh.jp@aioros.ocn.ne.jp



開所日: 火曜日～土曜日  
 閉所日: 日・月曜日、祝日、振替休日、年末年始  
 開所時間: 午前9時～午後5時